

令和元年度 第5回 政策決定会議 会議録③

-
- ◆開催日時:令和元年9月27日(金) 09:55~10:10
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

- ・補助金、負担金等適正化基本方針の策定について……………財政課⇒承認
-

◆審議概要

『補助金、負担金等適正化基本方針の策定について』

〈説明者〉坂井財務部長、渡辺財務部理事、新内行財政改革課長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案を一部修正のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 議会等に説明する際には、現状交付している補助金について、課題や対応策等を具体的な事例を出して行うこと。また、移行期間を考慮し3年以内の適正化を目指すこととしているが、担当課は本方針決定後、速やかに点検に着手し、可能なものは令和2年度からでも反映することとし、遅くとも、1年後、来年のこの時期には適正化に向けた取組、対応策に関して関係方面との調整を終えておくこと。
- ② サンセット方式を取り入れることで、目的・効果が低い場合は次の展開に移りやすくすることや、補助金を受ける団体等の意識改革につなげること。
- ③ サンセット方式の導入対象について、すべての補助金等を対象とするのか研究に留めるのか記載内容等を整理・検討すること。

◎説明後、質疑応答

〈市長〉サンセット方式の導入について、全ての補助金等を対象とするのか。

〈財務部理事〉原則全てを対象とする。内容によっては馴染まないものもあるが、それらは他の自治体を参考にしながら取組を進めていく。

〈市長〉この基本方針で動いていくのはいつからになるか。

〈財務部理事〉早いものは来年度からであるので、令和2年度の予算要求から見直しを進める。

〈市長〉基本方針は議会の議決は不要だが、こういった形で議会に意見を求めるか。

〈財務部理事〉決定会議後、各議員に説明を予定している。

〈市長〉基本方針を、議会に報告・承認してもらった方がよい。意見を求めながら、基本方針

の共有を徹底されたい。

〈行財政改革課長〉総務常任委員会において報告事項としてあげる。

〈小山副市長〉丁寧に説明したうえで、意見交換ができる場を設け、その内容を開示していくように。

本案件について、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和元年9月 18 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	補助金、負担金等適正化基本方針の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	「岸和田市行財政再建プラン」に明記する持続可能な市政運営を実現するための取組のひとつとして、「補助金、負担金等の適正化」を明記しており、本取組の実施に当たり、全庁統一的な方針として位置付ける必要があるため、ご審議いただきたい。
説明者	渡辺財務部理事
	新内行財政改革課長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和元年度 第5回会議
付議事項	補助金、負担金等適正化基本方針の策定について

★取組の目的

対象	補助金等交付団体
どのような状態を目指す	不明確である団体補助金等や、社会情勢の変化等や交付基準が不明確である補助金を見直し、基本原則にのっとりた補助金等への転換及び適正化を図る。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

本市では補助対象外となる経費の設定などのルール作りを進めるとともに、市が団体等に交付する補助金等の概要を公開するなどの取組に着手し、補助金等の適正化に向けて一定の成果を挙げてきた。しかしながら、その後も交付基準が不明確である団体補助金等が現存している、社会情勢の変化等により市の関与の度合いを見直すべき補助金等が発生するなど、再度補助金等を見直す必要性が生じてきた。そのため補助金負担金等の適正化に取り組む必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
各団体に対する補助金等の適正化		0	0	0	未定	未定	未定	未定	未定
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

指標名					目標値				
					単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。